

専門医研修期間(標準3年間)								
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群			
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			横浜市立大学附属病院	横浜	C			
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C			
			横浜労災病院	横浜	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C			
			横浜医療センター	横浜	C			
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B	神奈川県立足柄上病院	県西	A			
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B			
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B			
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B			
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B			
			平塚市民病院	湘南西部	B			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			横浜市立大学附属病院	横浜	C			
			横浜労災病院	横浜	C			
			横浜医療センター	横浜	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C			
			横浜栄共済病院	横浜	C			
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C			
			湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B	北里大学病院	相模原	B
葉山ハートセンター	横須賀・三浦	B						
鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	横須賀・三浦	B						
湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B						
湘南厚木病院	県央	B						
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C						
横浜市立大学附属病院	横浜	C						
神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C						
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C						
藤沢市民病院	湘南東部	B				神奈川県立足柄上病院	県西	A
						相模原病院	相模原	B
						横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B
						湘南ホスピタル	湘南東部	B
						藤沢湘南台病院	湘南東部	B
			クローバーホスピタル	湘南東部	B			
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B			
			秦野赤十字病院	湘南西部	B			
			大和市立病院	県央	B			
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			横浜市立大学附属病院	横浜	C			
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C			
			神奈川県立がんセンター	横浜	C			
			国際観音総合病院	横浜	C			
			横浜労災病院	横浜	C			
			湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B	湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B
湘南厚木病院	県央	B						
川崎市立多摩病院	川崎北部	C						
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C						
茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B				相模原病院	相模原	B
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B			
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B			
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B			
			湘南中央病院	湘南東部	B			
			藤沢市民病院	湘南東部	B			
			平塚市民病院	湘南西部	B			
			大和市立病院	県央	B			
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			横浜市立大学附属病院	横浜	C			
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C			
			横浜労災病院	横浜	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C			
			横浜医療センター	横浜	C			
			横浜栄共済病院	横浜	C			
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C			
			湘南東部総合病院	湘南東部	B	相模原病院	相模原	B
						茅ヶ崎新北陵病院	湘南東部	B
茅ヶ崎中央病院	湘南東部	B						
湘南東部クリニック	湘南東部	B						
ふれあい平塚ホスピタル	湘南西部	B						
東海大学医学部付属病院	湘南西部	B						
大和成和病院	県央	B						
ふれあい横浜ホスピタル	横浜	C						
汐見台病院	横浜	C						
ふれあい東戸塚ホスピタル	横浜	C						
平塚共済病院	湘南西部	B	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B			
			寒川病院	湘南東部	B			
			済生会平塚病院	湘南西部	B			
			済生会湘南平塚病院	湘南西部	B			
			伊勢原協同病院	湘南西部	B			
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C			
東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	小田原市立病院	県西	A			
			箱根病院	県西	A			
			相模原協同病院	相模原	B			
			相模原病院	相模原	B			

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			湘南大磯病院	湘南西部	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B
			伊勢原協同病院	湘南西部	B
			国立病院機構神奈川病院	湘南西部	B
			東名厚木病院	県央	B
			とうめい厚木クリニック	県央	B
			海老名総合病院	県央	B
			海老名メディカルプラザ	県央	B
			横浜旭中央総合病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
平塚市民病院	湘南西部	B	茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			済生会平塚病院	湘南西部	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			済生会湘南平塚病院	湘南西部	B
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
東名厚木病院	県央	B	神奈川県立足柄上病院	県西	A
			北里大学病院	相模原	B
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
			愛川クリニック	県央	B
			東名厚木病院	県央	B
			とうめい厚木クリニック	県央	B
			東名厚木メディカルサテライトクリニック	県央	B
			徳武クリニック	県央	B
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
			大和市立病院	県央	B
北里大学病院	相模原	B			
横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B			
大船中央病院	横須賀・三浦	B			
藤沢市民病院	湘南東部	B			
茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B			
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
横浜南共済病院	横浜	C			
横浜市立大学附属病院	横浜	C			
済生会横浜市南部病院	横浜	C			
横浜医療センター	横浜	C			
海老名総合病院	県央	B	北里大学病院	相模原	B
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
			座間総合病院	県央	B
			海老名メディカルプラザ	県央	B
			横浜労災病院	横浜	C
北里大学病院	相模原	B			
相模原病院	相模原	B			
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B			
藤沢湘南台病院	湘南東部	B			
藤沢市民病院	湘南東部	B			
茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B			
平塚市民病院	湘南西部	B			
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
横浜市立大学附属病院	横浜	C			
菊名記念病院	横浜	C			
済生会横浜市南部病院	横浜	C			
横浜鶴ヶ峰病院	横浜	C			
横浜栄共済病院	横浜	C			
横浜医療センター	横浜	C			
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C			
新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C			
関東労災病院	川崎南部	C			
昭和大学藤が丘病院	横浜	C	小田原市立病院	県西	A
			大船中央病院	横須賀・三浦	B
			菊名記念病院	横浜	C
			国際親善総合病院	横浜	C
			昭和大学横浜市北部病院	横浜	C
			日本鋼管病院	川崎南部	C
			川崎幸病院	川崎南部	C
			関東労災病院	川崎南部	C
昭和大学横浜市北部病院	横浜	C	小田原市立病院	県西	A
			汐田総合病院	横浜	C
			ふれあい横浜ホスピタル	横浜	C
			菊名記念病院	横浜	C
			横浜旭中央総合病院	横浜	C
			昭和大学藤が丘病院	横浜	C
			日本鋼管病院	川崎南部	C
			川崎幸病院	川崎南部	C
			関東労災病院	川崎南部	C
			済生会横浜市東部病院	横浜	C
汐田総合病院	横浜	C			
うしおだ在宅クリニック	横浜	C			
済生会神奈川東病院	横浜	C			
けいゆう病院	横浜	C			
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C			

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C
汐田総合病院	横浜	C	川崎協同病院	川崎南部	C
けいゆう病院	横浜	C	北里大学病院	相模原	B
			済生会横浜市東部病院	横浜	C
			亀田病院	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
横浜医療センター	横浜	C	さがみ林間病院	相模原	B
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B
			大和市立病院	県央	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜南共済病院	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			戸塚病院	横浜	C
			済生会横浜市南部病院	横浜	C
			国際親善総合病院	横浜	C
横浜旭中央総合病院	横浜	C	東戸塚記念病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C
			昭和大学横浜市北部病院	横浜	C
横浜市立市民病院	横浜	C	北里大学病院	相模原	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
			済生会神奈川県病院	横浜	C
			けいゆう病院	横浜	C
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C	聖ヨゼフ病院	横須賀・三浦	B
			けいゆう病院	横浜	C
			聖隷横浜病院	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			横浜旭中央総合病院	横浜	C
			左近山中央診療所	横浜	C
			オカダ外科医院	横浜	C
			神奈川県立がんセンター	横浜	C
			川崎市立多摩病院	川崎北部	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C
聖隷横浜病院	横浜	C	湘南リウマチ膠原病内科	湘南東部	B
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
			いどがや内科・糖尿病内科クリニック	横浜	C
			まえざわ内科クリニック	横浜	C
			吉田クリニック	横浜	C
			いきいき杉山クリニック	横浜	C
			上星川ファミリークリニック	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C	相模原赤十字病院	相模原	B
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			横浜南共済病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			AOI国際病院	川崎南部	C
横浜栄共済病院	横浜	C	横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B
			額田記念病院	横須賀・三浦	B
			大船中央病院	横須賀・三浦	B
			湘南記念病院	横須賀・三浦	B
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜南共済病院	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			済生会横浜市南部病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	神奈川県立足柄上病院	県西	A
			小田原市立病院	県西	A
			さがみ林間病院	相模原	B
			相模原病院	相模原	B
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B
			小磯診療所	横須賀・三浦	B
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B
			田浦内科クリニック	横須賀・三浦	B
			まちの診療所つるがおか	横須賀・三浦	B
			よこすか浦賀病院	横須賀・三浦	B
			中島内科クリニック	横須賀・三浦	B
			大船中央病院	横須賀・三浦	B
			湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B
			青木病院	横須賀・三浦	B
			逗子診療所	横須賀・三浦	B

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			三浦市立病院	横須賀・三浦	B
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B
			藤沢市民病院	湘南東部	B
			藤沢診療所	湘南東部	B
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			平塚十全病院	湘南西部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B
			大和市立病院	県央	B
			平和病院	横浜	C
			うしおだ在宅クリニック	横浜	C
			済生会横浜市東部病院	横浜	C
			神奈川診療所	横浜	C
			けいゆう病院	横浜	C
			横浜掖済会病院	横浜	C
			横浜中央病院	横浜	C
			かながわクリニック	横浜	C
			中央健康相談所	横浜	C
			清水ヶ丘病院	横浜	C
			弘明寺腎クリニック	横浜	C
			横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック	横浜	C
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C
			聖隷横浜病院	横浜	C
			横浜南共済病院	横浜	C
			金沢病院	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C
			並木小磯診療所	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			戸塚共立第1病院	横浜	C
			戸塚病院	横浜	C
			済生会横浜市南部病院	横浜	C
			神奈川県立がんセンター	横浜	C
			横浜栄共済病院	横浜	C
			みながわ内科クリニック	横浜	C
			国際親善総合病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	横浜	C
			横浜医療センター	横浜	C
			しまむらクリニック	川崎北部	C
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C
			川崎協同病院	川崎南部	C
			はとり内科循環器クリニック	川崎南部	C
			関東労災病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
横浜南共済病院	横浜	C	神奈川県立足柄上病院	県西	A
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B
			藤沢市民病院	湘南東部	B
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B
			大和市立病院	県央	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C
			済生会若草病院	横浜	C
			金沢文庫病院	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C
			済生会横浜市南部病院	横浜	C
			神奈川県立がんセンター	横浜	C
			横浜栄共済病院	横浜	C
			横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C
			横浜医療センター	横浜	C
横浜市立大学附属病院	横浜	C	神奈川県立足柄上病院	県西	A
			小田原市立病院	県西	A
			さがみ林間病院	相模原	B
			相模原病院	相模原	B
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B
			小磯診療所	横須賀・三浦	B
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B
			田浦内科クリニック	横須賀・三浦	B
			まちの診療所つづがおか	横須賀・三浦	B
			よこすか浦賀病院	横須賀・三浦	B
			中島内科クリニック	横須賀・三浦	B
			大船中央病院	横須賀・三浦	B
			湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B
			青木病院	横須賀・三浦	B
			逗子診療所	横須賀・三浦	B
			三浦市立病院	横須賀・三浦	B
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B
			藤沢市民病院	湘南東部	B
			藤沢診療所	湘南東部	B
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			平塚十全病院	湘南西部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B

専門医研修期間(標準3年間)								
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群			
			大和市立病院	県央	B			
			平和病院	横浜	C			
			汐田総合病院	横浜	C			
			うしおだ在宅クリニック	横浜	C			
			済生会横浜市東部病院	横浜	C			
			神奈川診療所	横浜	C			
			けいゆう病院	横浜	C			
			横浜掖済会病院	横浜	C			
			横浜中央病院	横浜	C			
			かながわクリニック	横浜	C			
			中央健康相談所	横浜	C			
			清水ヶ丘病院	横浜	C			
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C			
			弘明寺腎クリニック	横浜	C			
			横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック	横浜	C			
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C			
			聖隷横浜病院	横浜	C			
			横浜南共済病院	横浜	C			
			金沢病院	横浜	C			
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C			
			並木小磯診療所	横浜	C			
			横浜労災病院	横浜	C			
			戸塚共立第1病院	横浜	C			
			戸塚病院	横浜	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C			
			神奈川県立がんセンター	横浜	C			
			横浜栄共済病院	横浜	C			
			みながわ内科クリニック	横浜	C			
			国際親善総合病院	横浜	C			
			横浜市立市民病院	横浜	C			
			横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	横浜	C			
			横浜医療センター	横浜	C			
			しまむらクリニック	川崎北部	C			
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C			
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C			
			川崎協同病院	川崎南部	C			
			はとり内科循環器クリニック	川崎南部	C			
			関東労災病院	川崎南部	C			
			川崎市立井田病院	川崎南部	C			
			済生会横浜市南部病院	横浜	C	神奈川県立足柄上病院	県西	A
			相模原病院			相模原	B	
			横須賀市立市民病院			横須賀・三浦	B	
			横須賀市立うわまち病院			横須賀・三浦	B	
			藤沢市民病院			湘南東部	B	
			茅ヶ崎市立病院			湘南東部	B	
秦野赤十字病院	湘南西部	B						
大和市立病院	県央	B						
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C						
横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C						
横浜南共済病院	横浜	C						
済生会若草病院	横浜	C						
横浜市立大学附属病院	横浜	C						
神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C						
横浜労災病院	横浜	C						
港南台病院	横浜	C						
神奈川県立がんセンター	横浜	C						
横浜栄共済病院	横浜	C						
横浜医療センター	横浜	C						
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	東名厚木病院			県央	B	
虎の門病院分院			川崎北部	C				
聖マリアンナ医科大学病院			川崎北部	C				
川崎幸病院			川崎南部	C				
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	相模原協同病院	相模原	B			
北里大学病院			相模原	B				
相模原病院			相模原	B				
聖ヨゼフ病院			横須賀・三浦	B				
横須賀市立うわまち病院			横須賀・三浦	B				
大船中央病院			横須賀・三浦	B				
湘南鎌倉総合病院			横須賀・三浦	B				
湘南藤沢徳洲会病院			湘南東部	B				
平塚市民病院			湘南西部	B				
内科久保田医院			湘南西部	B				
東名厚木病院			県央	B				
済生会横浜市東部病院			横浜	C				
けいゆう病院			横浜	C				
聖隷横浜病院			横浜	C				
神奈川県立循環器呼吸器病センター			横浜	C				
横浜労災病院			横浜	C				
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院			横浜	C				
オカタ外科医院			横浜	C				
神奈川県立がんセンター			横浜	C				
横浜栄共済病院			横浜	C				
横浜総合病院			横浜	C				
西川内科医院			横浜	C				
虎の門病院分院			川崎北部	C				
帝京大学医学部附属溝口病院			川崎北部	C				
川崎市立多摩病院			川崎北部	C				
鎌田クリニック			川崎北部	C				
麻生総合病院			川崎北部	C				
あさお診療所			川崎北部	C				

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(47病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			あさお・百合クリニック	川崎北部	C
			新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C
			新百合ヶ丘石田クリニック	川崎北部	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			関東労災病院	川崎南部	C
新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C	聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
川崎市立多摩病院	川崎北部	C	大船中央病院	横須賀・三浦	B
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
川崎市立川崎病院	川崎南部	C	北里大学病院	相模原	B
			平塚市民病院	湘南西部	B
			汐田総合病院	横浜	C
			うしおだ在宅クリニック	横浜	C
			けいゆう病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C
			川崎協同病院	川崎南部	C
			日本鋼管病院	川崎南部	C
			協同ふじさきクリニック	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
日本鋼管病院	川崎南部	C	済生会横浜市東部病院	横浜	C
			けいゆう病院	横浜	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			川崎市立井田病院	川崎南部	C
関東労災病院	川崎南部	C	横浜労災病院	横浜	C
			昭和大学藤が丘病院	横浜	C
			昭和大学横浜市北部病院	横浜	C
			川崎協同病院	川崎南部	C
			協同ふじさきクリニック	川崎南部	C
川崎市立井田病院	川崎南部	C	けいゆう病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			川崎市立川崎病院	川崎南部	C
			日本鋼管病院	川崎南部	C
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎南部	C	湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B
			済生会横浜市東部病院	横浜	C
			横浜南共済病院	横浜	C
			菊名記念病院	横浜	C
川崎協同病院	川崎南部	C	汐田総合病院	横浜	C
			協同ふじさきクリニック	川崎南部	C
川崎幸病院	川崎南部	C	昭和大学横浜市北部病院	横浜	C

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っており、ダビングや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。</p>
県西	A	医療法人 小林病院	163	<p>将来の医師の育成に貢献することにより地域医療の充実の一助となるよう努めたく、この度の受入を希望させていただきます。</p>	<p>「人に優しく」をスローガンに、多職種協働によるシームレスな医療を提供しております。また、職員一人ひとりの幸福の追求と働きやすい職場づくりに努めております。</p>
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	<p>県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。</p>	<p>generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で専務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。</p>
県西	A	山近記念総合病院	152	<p>県政地区の総合病院として、臨床初期研修、東海大学医学部外科の専攻医の受け入れを行い教育機関としての業務を担っているが、専門医取得後の医師の育成にも社会的意義を感じたため</p>	—
相模原	B	北里大学病院	1140	<p>○ 脳神経内科は総合診療や地域医療と密接な関係があり、地域枠医師との相性が良い分野です。地域枠医師を受け入れることで地域枠医師のキャリアパスを支援できるかと存じますので、本邦の喫緊の課題である地域医療の推進にお役にたきたいと願っております。(脳神経内科)</p> <p>○ 大学病院での専門的な呼吸器内科研修へ参加していただき、呼吸器内科の知識を深めて頂きたい。(呼吸器内科)</p> <p>○ 現在、神奈川県においては血液内科医が減少してきており、白血病やリンパ腫の診療など、地域における医療提供体制に問題が発生している。地域枠医師を受け入れることで、県域における診療レベルの向上を図りたい。(血液内科)</p> <p>○ リウマチ膠原病は著しいQOL・ADLの悪化を伴う慢性疾患であり専門医の不足は地域医療や地域社会への経済的・社会的圧迫が大きい。県内、特に当院・当科が中心となつて管轄する県央においてリウマチ専門医や感染症専門医は少なく、地域の基幹病院で活躍する医師を養成する必要がある。(リウマチ膠原病・感染内科)</p> <p>○ 多くのマンパワーがある方が望ましい。(循環器内科)</p> <p>○ 神奈川県内の慢性腎臓病患者数は高齢化を反映して増加の一途をたどり、透析治療開始患者も改善していない。地域枠の腎臓専門医増加、腎臓診療に携わることのできる人材育成が重要である。(腎臓内科)</p> <p>○ 当医療圏から多数の入院患者・外来患者を受け入れており、緊急入院も多い。一人でも多くの若手医師が当院で研修することを希望する。(糖尿病・内分泌代謝内科)</p>	<p>○ 当院当科(脳神経内科)は神経関係の内科疾患を幅広く、また高い専門性をもって、診療しております。そのため当科で学ばれる地域枠医師は、脳卒中や頭痛といった急性期疾患から、認知症や神経難病といった慢性期疾患まで、幅広い経験が積むことが可能です。更には当科の症例数は脳神経内科としては全国でもトップクラスです。(脳神経内科)</p> <p>○ 大学病院での専門的な呼吸器内科研修を通じて、特に肺がんの最新の診断・治療、がんの終末期医療、気管支鏡・胸腔鏡手術を修得し、今後の医師としての知識・技能を深めることができると考えます。(呼吸器内科)</p> <p>○ 血液疾患は合併症が全身に及ぶため、血液の専門知識だけではなく、全身臓器について一通りの診療を学ぶことができ、総合内科の知識も身につけることができます。当科は地域の在宅診療所と積極的に連携しており、診療所に医局員を派遣することで全県でも極めて珍しい大学病院を核とした血液疾患患者の在宅診療体制を確立した。当科では血液疾患の専門診療のみならず、総合内科としての質の高い研修も可能と考えている。(血液内科)</p> <p>○ 多分野の専門・指導医(8分野)が揃い、リウマチ膠原病・感染内科を中心とした内科全般の研修が可能であり専門医取得に有利である。無理ない研修(豊富な関連病棟/適度な受け持ち患者数)や手厚いフォロー(病棟医長、チーフ、指導医の3面指導)が特色。また、相模原市との共同事業である相模原地域枠医師育成センターがあり、過去研修生1名、研修中2名の地域枠医師の育成・指導を行っている。県内の疫学研究や解析も行っており、公衆衛生学的な見地から俯瞰して県内の医療を分析することが可能である(公衆衛生学修士取得者あり)(リウマチ膠原病・感染内科)</p> <p>○ 当医療圏から多数の入院患者・外来患者を受け入れており、若手医師が活躍する場面も多い。また研修医の指導に熱心なスタッフも多く、認定内科専門医や内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医等を得るための研修にも理想的な環境である。(糖尿病・内分泌代謝内科)</p> <p>○ 腎疾患診療に関して、保存期、透析期、移植診療が全般的に、より専門的に学べ、多職種や地域医療連携を幅広く習得できる(腎臓内科)</p> <p>○ 重症心不全や体外循環も含めた豊富な症例数を経験できます。ぜひ一緒に診療しましょう。(循環器内科)</p>
相模原	B	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院	458	<p>当院の目標の一つは「救急患者の要請は受け入れていくことを原則とし、断らない医療を目指し地域医療に貢献していく」であり、救急医療を中心に地域に根差した医療を行っている当院と地域枠の目的である地域医療に貢献する医師の育成に合致しているため受け入れを希望した。</p>	<p>【内科】当院は、相模原地域の地域支援病院として地域の救急医療を担うとともに、リウマチ・アレルギー疾患の拠点病院としての役割を担っており、内科診療を幅広く学ぶことができます。内科専門研修の基幹施設となっており、県内、東京、また、国立病院機構の病院等々の様々な病院と連携しています。また、相模原市の二次救急医療に初期研修、後期研修から携わることで、内科診療の基礎から応用まで幅広く診療の力をつけることができます。</p>
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立藤野診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立青野原診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立千木良診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
相模原	B	相模原赤十字病院	132	<p>現在、医師不足が深刻であり、地域住民が当院に寄せる医療ニーズに応えきれない現状がある。経験年数を問わず地域医療に熱心に取り組む医師への期待は大きいため、是非とも受け入れをしたい。</p>	<p>急性期医療のみでなく、超高齢化に対する地域医療の経験が可能。総合診療特任指導医、総合内科専門医・指導医、プライマリケア連合指導医を擁しており、総合診療の経験が可能。希望があれば、相模原市からの指定管理を受け当院が運営している市立診療所(計3か所)での医療の経験が可能。</p>

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横須賀・三浦	B	社会福祉法人 湘南福祉協会 総合病院 湘南病院	287	当院は良質な医療を通じて社会に貢献することを基本理念として掲げています。その更なる院内体制強化のため、医師の募集を希望しました。	当院は横須賀市の追浜駅前におよそ75年前に開院し、乳幼児期から老年期の患者を対象に、精神科と一般科をメインとする「心と身体」の両方が診療できるケアミックス病院(病床数287床)です。また、その他の特徴として、「漢方外来」、「手・肘の外科センター」という専門診療科も有しています。当該診療科は、医師からの申し出により開設したもので、専門分野で活躍を希望される医師には協力的な病院です。さらに、自治会、町内会等が主催する健康関連行事への参加、協力など地域に開かれた病院づくりも進めています。現在、全職員が「日本一 笑顔と挨拶ができる病院を目指す」というキャッチフレーズのもと、患者に寄り添った、また、スタッフの働きやすい職場づくりに取り組んでいます。以上、駅近で通勤しやすいこと、医師を含む職員の夢や希望に対し協力的であること、働きやすい職場づくりに病院全体で取り組んでいること、地域に開かれた病院を目指していること等が当院のアピールポイントです。
横須賀・三浦	B	三浦市立病院	136	横須賀・三浦の医療圏において医師確保がなされているのは、大学医局からの派遣を受け入れている中核病院に限られています。地域医療の要である地域密着型の中小病院が地域医療を守るためには医師の確保が必要です。	「三浦ならではの」地域医療を進めている当院では本物の地域医療を学ぶ場としての環境が整っています。また、地域の中核病院や大学からの専門医派遣により専門外来(循環器、呼吸器、神内、消化器、糖尿病、脳外、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科など)を開いており、院内で相談指導を受けられる体制もなっています。ぜひ、地域医療に関心のある医師をお待ちしています。
横須賀・三浦	B	社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	198	内科医不足。 地域医療を担う人材育成。	当院は地域に根差した医療機関であり、急性期病棟、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を有したケアミックス病院です。また、理念である「来てよかった病院」と言われるように、衣笠病院グループの一員として、地域の「医療・保健・福祉」を担っています。
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	482	各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。	派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。
横須賀・三浦	B	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	417	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。 内科・産婦人科系は医師数が充分とは言えず、二次医療圏の医師数の状況を踏まえても更なる増員が必要であると考えます。	三浦半島80万人医療圏の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるよう配慮していきます。
横須賀・三浦	B	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	740	教育体制が整っている。 未来に向けてたかいレベルの医師を育てたいと思っています。	内科:患者数が多いため、専門医等の取得が可能。
横須賀・三浦	B	医療法人横浜柏堤病院 よこすか浦賀病院	99	—	—
横須賀・三浦	B	聖ヨゼフ病院	182	若手医師の確保を図るため。	当院は一般内科、リウマチ内科、在宅医療、救急医療などプライマリケアの必要な実力が付きます。
横須賀・三浦	B	シャカイフクシホウジン聖テレジア会 鎌倉療育医療センター小さき花の園	72	現在常勤医が3名枠のところ2名で診療を行っている。各大学に医師の派遣をお願いしているが、医局員が少ないという理由で断られている。医師不足を解消したい。	児童から成人まで、重症心身障害児の診療を学ぶことができる。
横須賀・三浦	B	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
湘南東部	B	医療法人社団若林会 湘南中央病院	199	地域医療を希望する医師の確保	当院は回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を有し、院内には在宅診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており地域医療を実践しています。後方支援として同法人設立の介護老人保健施設もあります。また、県、市からの要請により地域の医療確保に向け万全の体制で臨む医療機関です。
湘南東部	B	一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院	330	地域医療へ質の高い医療の提供を継続して行い、若手医師を育成して神奈川県を安心安全に貢献する為。	手技検査など指導のもと、専攻医には主治医として多くの経験と治療計画の決定をして頂きます。コンサルタントがしやすい環境でありますので、医師、看護師、医療技術者との連携がスムーズに行えます。
湘南東部	B	湘南東部総合病院	348	湘南東部医療圏に限定せず、今後高齢化率の高い県内のいずれの医療機関でも不安なく診療にあたる実力を医師として獲得できるように体制を整え、希望者をSubspecialty領域専門医の研修や高度・先進的医療、大学院などでの研究を開始する準備の経験が出来ることで、地域医療に貢献を果たします。	当院は神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診、病病連携の中核であります。一方で地域に根差す第一線の病院でもあり、コモンディージーズの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し、複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的にやりたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組みみれえざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
湘南東部	B	クローバーホスピタル	170	クローバーホスピタルは湘南藤沢の地域医療を支える170床の在宅医療支援病院です。地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟を中心に地域医療構想の中心的役割を担う地域に密着した医療を展開しています。在宅診療部門もあり、訪問診療を約1000件行っています。藤沢市民病院内科専門医研修連携施設となっています。当院では理念である「地域に密着した」入院のできる在宅医療"医療のある介護"の実践を行うべく、在宅医療から入院まで総合的な診療のできる医師を育成しています。若手医師を引き受けたら、全身を見ることができ、多職種チームのマネジメント力を持った地域医療のリーダーになれる人材に育てたいと思います。	当院の地域包括ケア病棟は平成26年度診療報酬改定とともに開設し、早くも5年が経過し、地域包括ケアのトップランナーを自負しています。地域の高齢者救急(サブアキュート)の役割を担い、入院から在宅までシームレスな診療・介護を実践しています。また地域の高度急性期病院と連携し、誤嚥性肺炎バスを始め、ポストアキュート医療も展開しています。回復期リハビリテーション病棟は管理料1を取得し、質の高いリハビリテーションを提供しています。医療療養病棟では、がん、非がんにかかわらず終末期ケアに力を入れています。当院で研修すれば総合診療力が身につくとともに医療制度や地域包括ケアシステムを学ぶことが出来ます。ぜひ当院で研修し地域医療の未来を担う医師になりませんか。
湘南東部	B	茅ヶ崎市立病院	401	—	—
湘南東部	B	医療法人徳洲会 山内病院	99	常勤医の若返りを図りたい	当院は、地域密着型病院であり、内科専門病院である。藤沢で90有余年の歴史がある
湘南東部	B	医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル	170	医師確保により適切な医療提供を継続的に行うことができ、また地域の様々な機関との連携などの強化も期待できるため、受け入れを希望いたします。	当院は地域密着型の医療機関として、急性期以降の回復期から在宅医療へ繋ぐ役割と在宅医療を積極的に展開してきた医療機関で、地域包括ケアシステムの中心として地域の患者様をトータルでサポートしています。内科及び総合診療として、入院から在宅診療へ・在宅診療から入院へ・地域の患者様を幅広く支える医療と介護を実際に感じていただければと思います。
湘南西部	B	東海大学医学部附属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	平塚市民病院	416	当院の救急車搬送患者数は10,322人(令和5年度)であり、全国的に見ても上位に入る多さであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。	当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
湘南西部	B	秦野赤十字病院	320	定員医師数が不足受入れを希望します。	日本赤十字社の使命の一つである災害医療は、今後も予期せぬ災害において被災地での迅速な活動と当病院の地域で災害が生じた際には当院が災害拠点病院として医療活動が行えるよう準備を行っております。通常の診療では2023年血管造影室が1部屋増設され、脳神経外科や循環器内科などでの血管治療がより遅滞なく可能となりました。当院泌尿器科および外科で2024年に手術を支援するロボットを用いた手術を行い、今後も安全で高度な医療を行う所存です。その他消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科は常勤の専門医が診療いたします。代謝内分内分泌科、産婦人科、心臓血管外科医、形成外科、呼吸器内科は外来のみの診療ですが、当院は2023年地域医療支援病院に認定され、今後も引き続き秦野近隣の様々な医療機関と連携して地域医療を支える病院として診療を行います。各診療科の概要・特徴につきましては、当院ホームページをご覧くださいませようお願いいたします。
湘南西部	B	伊勢原協同病院	350	—	三次救急の大学病院が近くにあり、当院では各医師の専門性を重んじつつも良好なチーム医療により総合的な力を発揮し、二次医療を行っております。ほぼすべての診療科に指導医がおります。
湘南西部	B	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会湘南平塚病院	176	地域包括ケアを充実させるべき当院の役割を拡大させるため	当院で地域医療に根ざした地域包括ケア医療を研修することが出来る
湘南西部	B	医療法人社団 健齢会 ふれあい平塚ホスピタル	125	地域を担う医師の育成に少しでもお役に立てればと思い、受入を希望致しました。	地域にお住まいの皆様への「掛かりつけ医」として、又、人工透析、療養、リハビリテーション機能を提供し、包括的な地域医療を目指しております。エリア内には同じグループが経営する有料老人ホームや介護老人福祉施設を併設し、医療、福祉の総合施設としての役割も担いつつ、利用者様への安心医療を提供しております。
県央	B	神奈川リハビリテーション病院	324	県内で医師の配置が最も逼迫している県央地区において、当該医師が当院の診療に加わることで、当院の臨床力の向上のみならず県央地域医療全体に貢献できるものと考えます。	令和元年8月に新病院がグランドオープンしました。40有余年の歴史と伝統のあるリハビリテーション医療を、ロボット手術支援システム(Mako)をはじめとした最新鋭の設備施設にて体得することができます。
県央	B	社会医療法人社団 三思会 東名厚木病院	282	急性期医療を担う地域医療支援病院として、年間約5,000台の救急車を受け入れております。しかし、その受け入れ窓口となる内科医、救急医、総合診療医の採用に苦慮している現状です。充実した医師養成課程にてキャリアアップを図り、また現場で働く医師の業務軽減を実施するためにも、この制度を是非とも活用させていただきたいと考えております。	様々な疾患の診療を行っていただくので、先生方の経験にも繋がると考えております。全診療科において必要であれば直ちに来院できるオンコール体制も整備しております。また、チーム医療として、メディカルスタッフとの連携も取れており、非常に働きやすい職場であると思います。
県央	B	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様に誘致頂く形で海老名市に開院致しました。これまで神奈川県県央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。平成29年には県央地域初の救命救急センターを開院し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積む事が可能です。
県央	B	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院	352	当院は、座間市の「救急医療の立て直し」という使命の下、市内で3施設目の2次救急病院として平成28年4月にオープン致しました。若い先生方と共に、更なる救急医療の強化を図り、地域貢献して参りたいと考えております。	当院は、グループ施設の海老名総合病院の臨床研修医の受入も行っており、研修医からは「一医師として診療にあたることができ、やりがいを感じる」とどの科においてもその様な感想を得ております。経験に関係なく、先生方の力を遺憾なく発揮頂ける環境を整えております。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県央	B	湘南厚木病院	253	十分な症例数があり、指導体制も整っているため	地域の急性期総合病院として、専門性・緊急性の高い疾患はもちろんのこと、Common diseaseまで幅広い疾患を数多く経験することができる。
県央	B	医療法人社団 福寿会 愛川北部病院	150	公共交通機関から離れた地域での地域医療を理解し協力していただきたい。	愛川町唯一の病院として、一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟がある。 訪問診療、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションも運営しており、地域医療全体を学ぶには有益である。
横浜	C	昭和大学横浜市北部病院	689	—	—
横浜	C	汐田総合病院	266	当院の診療圏(横浜市鶴見区)の人口が高齢者も含め増加しており、今後更なる医療需要を有する地域であるため。	・地域に根ざした病院として、急性期・救急機能を備えながらも、回復期病床を充実させ、地域住民の健康を守ります。 ・無差別・平等の地域包括ケアの拠点として、近隣の医療機関・施設と連携し、地域住民とともに歩んでいます。
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	済生会神奈川県病院	199	内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科を標榜しており各診療科の専門医から適切な指導を受けられます。	当院は横浜市北部での超高齢社会の地域医療の中心的役割を担っています。科を超えた病院内での横断的な診療が可能です。また、地域への発信や住民との交流も積極的にしていただき、地域密着型の医療を経験できます。
横浜	C	医療法人社団 鴨居病院	150	当院は、主に高齢者を中心とする急性期病棟と長期療養が可能な病棟があります。 2年後に病床数も拡充する予定であることから、今後は、地域包括ケア病床の増床と在宅療養支援病院として地域医療の強化を行うことから内科医師の採用が必要です。	当院は、昭和48年9月に開設し、これまで地域医療を担ってきました。診療科は、内科、小児科、整形外科など地域で必要とする機能が充実しております。 今後は、患者さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、在宅医療を強化し在宅からの受け入れとして地域包括ケア病床の増床を予定しております。
横浜	C	菊名記念病院	218	医師不足のため受入を要望する。	初期臨床研修病院のため、各診療科において、教育・指導体制が充実している。 地域医療支援病院として、近隣医療機関との連携を通し地域医療に貢献できる。
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいです。
横浜	C	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	367	・地域枠医師を受け入れるための条件に合致する医療機関であるため ・当院は地域に根差した診療を行っており、地域医療を担う医師の育成という本取り組みの趣旨に合致するため	●内科・救急 → 救急患者(4,500件/年以上)やWalk inの患者など地域の患者さまを積極的に受け入れています
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	236	当院は令和2年4月に地域医療支援病院として承認され、年間3,000件以上の救急の受け入れを行っています。また、JCHO版病院総合医育成プログラム等、総合診療科が精力的に診療を行っており、その他消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、外科において若手医師の活躍が期待されます。	当院は、横浜市二次救急医療に携わる病床数236床の急性期病院です。昭和30年の開設で、平成26年に独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院となりました。保土ヶ谷区の中心的病院として医療を提供しており、急性期としてHCU8床・手術室5室・透析23床を備え、内科・外科・整形外科に加え泌尿器科眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科など、多数の診療科で質の高い医療を行っています。また、地域包括ケア病棟(31床)、訪問看護ステーションを併設しています。
横浜	C	医療生協かながわ生活協同組合 戸塚病院	93	後継者育成。	地域に根ざした病院で、スペシャリストではなく内科疾患全般を経験する事が出来ます。
横浜	C	ふれあい東戸塚ホスピタル	150	当院では高齢の常勤医師が多数を占めており、域枠医師として若い医師を育成し継続的かつ発展的に地域医療に貢献できる様にしたと考え、受け入れを希望します。	総合診療を中心として人工透析、リハビリテーションの専門医療、在宅医療等の機能を提供し地域包括ケアを推進しております。入院患者の半数を占める透析患者が抱える糖尿病への対応、回復期リハ病棟(回復期病棟2取得)では脳血管疾患や整形疾患、透析治療が必要な患者を対象としたリハビリを提供しております。こうした環境下でスキルを如何なく発揮、地域医療の発展に寄与頂ける医師の応募をお待ちしております。
横浜	C	医療法人社団 明芳会 横浜旭中央総合病院	515	当院は、内科および麻酔科の専門研修プログラムの基幹施設として認定されております。現在神奈川県地域枠の研修医1名より当院での専門研修を検討しているとお話を頂いており、その他の地域枠医師も含め積極的に受け入れを行いたく希望させていただきます。	病床数515床・標榜科30科で構成され、2次救急指定病院として年間平均10000台の救急車を受け入れております。豊富な症例・手技を経験でき、急性期・回復期・慢性期を備え一貫した医療を学べます。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までチームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	410	大学派遣も厳しい状況であり、リクルート活動の一環として受入れたい。	内科、外科、産婦人科、どの診療科においても、広く症例経験することが可能です。
横浜	C	横浜療育医療センター	113	小児科、特に障害児医療に関わる医師不足のため。	少人数で濃厚に研修が可能であり、小児に特化した医療ケアが取得できる。
横浜	C	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院	250	独立行政法人地域医療機能推進機構の病院として地域に従事する医師を育成するとともに地域住民の診療を支える使命がある。また、特に腎臓内科医、糖尿病内科医、消化器・肝臓内科医、麻酔科医、外科医については深刻な人員不足である。	当院に所属する各学会の指導医・専門医のもとで地域医療における多岐にわたる症例を経験することが出来る。特に内科は各内科系診療科を複数有し、より専門性の高い診療を実践することが出来る。外科においては手術・手技・周術期管理を学ぶことが出来、化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、幅の広い診療を経験することが出来る。麻酔科においては神経ブロックに力を入れており症例数も豊富であり、十分な経験を積むことができる。
横浜	C	康心会汐見台病院	225	大学医局派遣、ローテーションが終了となる(なった)診療科が一部あり、今後の継続的、発展的な地域医療提供へ向けて受入を希望。また、地域唯一の総合病院として地域医師への育成にも関わってまいりたいと考えております。	当院は地域(磯子区内)唯一の総合病院です。産科、小児科、内科、外科等の診療科があり周産期-小児-成人-老年-回復期-慢性期と各医療ステージに対応した医療機能を備えております。診療経験、スキル発揮いただきを我々ふれあいグループとともに地域医療へ貢献いただける医師を募集しております。
横浜	C	医療法人裕徳会 港南台病院	84	84床の急性期に加え、令和3年5月に120床の地域包括ケア病院を開院しました。地域の中で入院診療、訪問診療、介護などの従来からの個別課題解決だけでなく、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくりや新たな資源開発、さらには政策提案などの様々な実務を実践していくうえで柔軟な思考、活動ができ、新たなことにチャレンジできる若い力を必要としています。	法人内に急性期病院、地域包括ケア病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、都市型の地域医療を実践していくうえで、当法人ならではのユニークな経験を積むことができます。経験と指導能力に富む内科診療、外科医師に加え特に済生会横浜市南部病院と連携しながら診療を行っており、日本外科学会関連施設でもあることから、外科専門医制度と関連付けた修練を積むことも可能です。キャリアの早い段階にこのような包括的な経験を積むことは、これからの新たな地域医療を実践する若手医師の成長に大きく寄与できるものと考えます。
横浜	C	横浜済済会病院	151	当院は、2024年に移転新築を計画しており、より一層地域社会の一員として地域の医療に責任を持つ医療機関としての役割を自覚し、今後さらなる医療提供体制の充実を目指している為、地域枠医師の受入れを積極的に行います。	当院は1896年(明治29年)創立の歴史のある病院です。元来は船員の方の為の病院でしたが、現在は地域の住民の皆様への医療の充実及び健康の増進に尽力し、社会福祉面でも貢献しています。これからの、地域包括ケアシステム(医療と介護の連携)に積極的に取り組んでいます。特に消化器内科・血液内科・呼吸器内科及び消化器外科志望の医師が最適である。
横浜	C	横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	300	地域医療の質向上及び当院の合併症対応機能の強化のため	当院の専門領域(脳血管疾患、神経疾患、脊椎脊髄疾患)について豊富な症例が経験できます。指導体制や施設・設備面も充実した環境となっています。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことから、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川済生会若草病院	177	昨年度より、医師を募集しているが、採用できず1名欠員の状態が続いている。横浜市立大学から多数の非常勤医師、初期研修医を派遣頂いているが、常勤医師の確保が十分でなく、病院独自で採用するのが困難となっている。	地域密着の総合病院として、内科、外科から皮膚科、泌尿器科まで一般的な診療科を備え、日中は軽症・中等症の病気がけがを即時診療する救急にも対応しています。2018年に院内の一部をリニューアルし、リハビリテーション施設のさらなる充実、在宅医療や地域医療機関と連携する入院施設の拡充など、今後地域に必要とされる病院機能を大幅に強化しました。高齢の方が病気がけがで手術を受けた後自宅で自立した生活を送るのは難しいと考え、そうした患者さんを引き受け、リハビリなどを通じてスムーズな回復を促し、地域の介護支援サービスとも協力して在宅復帰をお手伝いする病院としております。加えて自宅や施設で療養中の患者に対し、容体が悪化したときは入院できる体制を整え、地域の中で最期まで暮らせるよう支援を行っています。
横浜	C	医療法人裕徳会 よこはま港南台地域包括ケア病院	120	外来・入院・訪問の各診療への医師人材活用と育成を通じた地域医療への貢献	開院来45年となる港南台病院とともに地域に密着した切れ目ない医療を提供しています。法人内に急性期病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問ステーションを有しており、訪問診療も積極的に行っております。法人内外での連携を通じ、患者・家族に寄り添った医療を提供しております。
川崎北部	C	帝京大学医学部附属溝口病院	400	地域への貢献の意志がある意欲的な人材を受け入れることにより、各科の充実を図ることは、当院の理念である「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。また、全ての領域ではないが専門医の基幹・連携施設となっており、専攻医の育成も可能であるため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコモンディーズを経験することができます。各科の垣根は低く、医療スタッフの連携やチームワークもよい病院です。●内科:地域医療から高度専門医療まで幅広く経験でき、地域貢献とともに医師のキャリアアップにつながる経験を積むことができる。内科基本領域だけでなく、ほぼ全ての内科サブスペシャリティの研修施設として認定されている。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
川崎北部	C	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	563	希望する診療科それぞれにおいて人員体制を強化し、診療体制を充実させ、その中で若手医師を育成し、神奈川県地域医療に貢献したいと考えています。	「地域医療への貢献」、「高度先端医療の実践」、「最良の安心を得られる医療」を目標に掲げ、救急患者を積極的に受け入れており、様々な救急疾患に対応できる能力を養うことができます。また最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、がん診療にも貢献しています。常勤医師210名超体制のもと、研修体制が充実しており、働き方改革に沿った勤務ができます。
川崎北部	C	医療法人社団 亮正会 総合高津中央病院	260	地域に根差した医療を行う上で、また24時間365日救急医療を行っている中で人材の確保及び診療体制の強化の為受け入れを希望します。 *内科には循環器内科 5名・救急科 1名在籍あり。	消化器内科・糖尿病内科・神経内科・総合内科・循環器内科及び24時間365日救急指定医療機関であり特に循環器内科は虚血性心疾患・末梢血管障害のカテーテル治療を中心に行っております。救急指定医療機関でもあり様々な疾患の診療を行っていただきますので、先生方の経験にも繋がると思います。
川崎南部	C	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院	267	神奈川県内への医師定着を促進させるため、受入を希望いたします。希望した4科は指導医体制も整っており、専攻医を受け入れる条件が整っています。また、専攻医を受け入れることで、各科が活性化し、レベルアップできるきっかけになればと思います受入を希望いたしました。	当院は地域に根差した医療を提供しており、豊富なコンディショニングを経験することができます。外来から入院、退院後の在宅医療まで、一人の患者さんを通して診ることができるのも当院の研修の魅力です。また病気を診るだけでなく、社会背景にも目を向けて、一緒に問題を解決し健康づくりに取り組むことを大切にしています。
川崎南部	C	川崎市立川崎病院	713	二次医療圏としては、川崎は南部と北部の二つの医療圏があるが、患者の実態としては南部(川崎区・幸区)、中部(中原区・高津区)、北部(その他三区)に分かれており、二次医療圏としての南部は中原区の二大病院によって対人口比で全国平均を超えている。当院のある川崎区は必ずしも十分な医師がいるわけではない(無論県西部に比して多いと思われるが)。またJRより海側の横浜市鶴見区も当院のカバーエリアであり、こちらも決して医師が充足しているわけではない。そうした立地の中で拠点病院として診療を行う上で、現状の人員では必ずしも充足しているとはいえないので今回希望した。	伝統的に一内科制をとることで、診療の垣根を越えて一人の患者に複数の専門家の助言を受けて診療することになる。結果として視野の広い医師の育成に務めている。また多くのサブスペシャリティの教育研修機関として学会の認定を受けている。
川崎南部	C	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根付いた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。
川崎南部	C	日本鋼管病院	395	診療体制強化のため。 地域に根付いた、長く勤務いただける医師を確保するため。	当院は開設以来80数年間に渡り川崎市川崎区で地域に根ざした運営を続けている、急性期と地域包括ケア病棟からなる二次救急病院です。内科は後期研修プログラムを有し、専門医を目指す医師が切磋琢磨しています。